

平成5年3月7日
編集人兼発行人
大田県能代市高橋2番1号
大田県立能代高等学校新聞部
印刷所 (株)大勝堂印刷

文武両道の実績残す

新制45期生329名が今日巣立つ。硬式・軟式野球部の活躍を中心にした文武両面での活躍は、創立70周年に向けた弾みをなした。

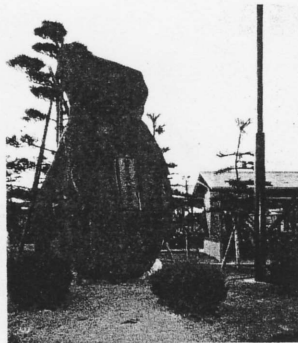
きょう十時から能代高校新
制四十五期生の卒業式が行わ
れ、男子三十七名、女子二
名、計三十九名に卒業証書
が授与される。この三十九名
を加えて、昭和十三年度卒
業生を合計すると、

の新制第一期からの本校の
卒業生は、累計一万三千六百
十名となった。

きょうの式は卒業生、在校生、教職員、他、県教職員連合会、卒業生会をはじめ、来賓がたぎ



卒業生は完成した新校門をあとにする



卒業生は完成した新校門をあとにする

出席される。また、きょうが日曜日ということもあり、父兄の方々の出席が例年よりかなり多くなると見られる。

卒業証書は、代表三年F組の岸部真悟君に授けられている。また卒業生には徒会長の下藤洋美君、答辭は庶生徒会長の桜田博文君がそれぞれ述べた予定である。今日卒業を迎える人々には甲園大会、明治大会、出場した硬式、軟式野球部をはじめ、各運動部の活躍が特に注目される。また学習面でも地道な努力がみられ、文芸四方面での特長を残した進路開拓には、野球の全校に接点で尋ね

説論 普通高校のあり方

ばすことが出来れば、一人一人の高校生活が充実し、学校全体にも活気があふれてくる。ところが社会が複雑化し人の生き方も多様化してきたことと高度化してきたこと、更に子供たちが将来に向かって

の自覚を持ち、はたは出る
の心構えも持っていたた
けに、なにかうか
る。早く早い時期に自分の
将来に気づき、能力の度度を
定め、将来の職業を自己
決意を固めるということば
は、ハイ、家族の話し合いを
参考に、進路を選んでいき
たい。そのあたりは時間もか
かる——これが、「普通科設
置」の声となつてくる理由で
ある。

高校進学は当然と
しても、高校進学は当然と
校に入学した人がほとんどで

高校校の不適合生徒や中
者の生まれる背景は、な
るに於けるものはな
か。

「我々、能代高校生は、希
望しており、普通高校であ
るべき」と主張する。

であらう。
高校も大学も社会の流れも
どんどん変わっている。「普
通科設置」の投書には、高校
教育全体のあり方に関する問
題提起が込められていそうで
ある。

ある。しかしどうだろう。毎日の生活の中で、自分の為すべきことを弁え、目的意識を醸成して行っているだろうか。普通高校生という立場に自惚れ環境に甘えて、漫然とした勉強を情性的に繰り返してはいるまいか。商業、農業、工業、あるいは衛生看護科などの職業高校と比べた、我々能高の独自性とは何を、どうするべきによって保たれるのか。

野球部室等も竣工

整備された自転車置き場とカラー舗装

進められてきた。昨午（けふ）の校司前庭の整備事業が完了し、明日（あした）は子園・光明山会出湯記念として作られた硬式野球観覧席、軟式野球場より練習場が完工し、二日連続で試合が行われる。

当日は休日土曜日に生じ、校司陣前で業者による、校司陣前で業者による事が行われたあと、代表一フカットを行った。

引きつづき、新設された室内に入れた参加者は庭と同様、他例を見ない

つた施設設備を、満足気に見学し、伊都へ帰る。

吉 安 裕

まさに日本一の風格

自転車置き場完備

竣工した前庭関係工事の主なものとしてまず自転車置き場の新設があげられる。木材をふんだんに使った自転車置き場は十三棟、収容台数は千四十台で、自転車通学者九

やけに受験生もものごの勝算を受けていると言ふものだ。

私大の合格者 昨年上まわる

三月五日現在の進路決定状況は、国公立大学については推薦合格以外は発表されていない。私立大学合格者のべ数は一五二件であるが、これは好成績を残し昨年度の進学を上まわる勢であり、本校の合格成績が追いつき向上していることが、はっきりと表れたと言つていい。

表IIは推薦入学の状況である。昨年と比べると合格率が

例は、東京都内の大学へ合格者が四人から七十一人へと増加している。これは、東京での学生生活に負担がかかりすぎることや生活環境がよくないこと、更に最近の受験者数減少などにより、東京都内の大学の影傾向が影響している。これは、高野校の日本大三大（昨年二）、東洋大六大三（昨年二）など、法政大五（二）などに表れている。

この逆の現象が北海道に顕著である。例として札幌大、札幌学院大の合格者が合計で昨年の二十人から五へと激減したことがあげられる。東

「生徒は定められた自分の置き場には置くことになり、利用やすいはかりたず、紛失等の事故も防げることなす。」

今回はまた校務の石柱が移され、これも新設教育訓碑と相まつて堂々たる風格が備わった。

更に男塾石を疊へた門柱87本、水銀灯七基、そして二百本の黒松の植栽は、まさに「全国一の美しさであらう。」

公立大の合格者が倍増している点が目立つ。これは、学生中の諸活動の実績や特技を年かした適切な学校選択が行われた結果とみていい。また今年は、推薦入学を取り入れる国公立大が増えたことも影響している。

地方大学が高倍率
東京地区は易化

表Ⅲは、大学所在地別の台否状況である。今年は昨年と

表Vは、英語偏差値による私立大学登校状況である。数値は5年次の進研模試第6回による。英語の偏差値が低くなく、合格するが不合格とされた人たちは、従来より地区大学の難しさを避けるようにした人たちが、東北・北海道を受けた。その結果、倍率があまり不均衡に終わつたことがわかる。

推薦入学の合格ふえる

進路決定状況を調べてみた表1は、この三年間の三月五日現在の進路別志望者を表わしている。今年は公務員、就職志望者は減少しているが、逆進志望者は増加傾向にあることがわかる。

区 分	受験者	合格者	合格率%
一般推薦			
国公立大	18(17)	13(6)	72.2(35.3)
私立大	29(24)	12(7)	41.3(29.2)
短大	5(9)	3(3)	60.0(33.3)
自己推薦	1(0)	1(0)	100(0)
学校指定	27(28)	25(24)	92.6(85.7)
合 計	80(78)	54(40)	67.5(51.3)

表Ⅲ 私立大学所在地別合否状況
() 内は昨年度 今年度は3月3日現在、昨年度は3月5日現在

	文 学 学 部		理 学 学 部		合 計	
	合	否	合	否	合	否
北海道地区	5(20)	56(62)	6(6)	13(9)	10(26)	70(71)
東北地区	33(36)	103(94)	9(11)	13(29)	42(47)	110(123)
関東地区	14(11)	33(29)	1(1)	5(6)	15(12)	38(35)
東京都	55(34)	135(54)	16(6)	29(24)	71(40)	148(78)
その他	10(12)	29(43)	3(2)	13(13)	13(14)	32(56)
合 計	117(113)	356(302)	35(26)	63(81)	151(139)	420(483)

表 V 英語偏差値による私立大学合格状況

偏差値	受験者数	合格者延べ数	不合格者延べ数
70以上	3	4	2
69~65	11	15	12
64~60	13	20	16
59~55	23	25	41
54~50	35	28	68
49~45	25	15	83
44~40	31	13	89
39以下	18	7	59

を左右していることがわかる。偏差値44以下でも合格した人が20件あるが、これは英語を除いた二科目入試なので合格したものである。